

1 主 題 インターネット上の人権侵害

2 教材名

26 「ネットいじめ」って何だろう!?

3 主題・教材について

「いじめ」が大きな社会問題となっている。さらに、ICT（情報伝達技術）の発達とともに「ネットいじめ」と呼ばれるインターネットや電子メールを使った新しい形態のいじめ問題も発生し、深刻化している。

ネット上にいったん流れてしまった情報は、不特定多数の人が簡単に閲覧することができ、加工も容易であるため、発信者自身もコントロールできなくなり、取り返しのつかない事態に陥ってしまうことが少なくない。また、発信者自身がそうした危険性を十分に把握しないまま、大きな事件へと発展してしまっていることさえある。それ故、「ネットいじめ」を深刻な問題と捉えた早急な取組が求められている。

この教材では、ネットに情報を発信することの問題点と、どのような行動をとればよいのかということについて、小学校高学年ということも踏まえ、具体的な場面を通して考えさせたい。

（関連教科・領域：道徳、特別活動）

4 ねらい ・ ネットに情報を発信することの問題点を知り、自らがとるべき行動の在り方を確かめる。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	・ 教材の前半を見てインターネットや電子メールのよさについて考える。	・ 自分の生活をふり返り、どんな時にインターネットや電子メールを使ってよかったか（役に立ったか）を考えさせる。	
展開	「ネットいじめ」について考えよう。 ・ 教材の後半を読み、「場面1」「場面2」の問題点を考える。 ・ 自分がこのようなメール（ネットに書き込まれた悪口）を見たらどうするかを考える。 「ネットいじめ」をなくすには、どうすればよいかを考えよう。 ・ Aさん（Cさん）はどうすればよいかを考え、話し合う。	・ 学級の実態に応じて場面を選択する。（可能であれば、どちらの場面も取り上げる。） ・ 送られた電子メール（インターネットに書き込まれた悪口）がその後どのように広まっていくのかをシミュレーションさせる。 ・ まず第一に、こうした行為によりBさん（Dさん）がどんな気持ちになるかということを考えさせるようにする。 ・ 自分の意に反して情報が広まってしまったときのAさん（Cさん）の気持ちを考えさせる。 ・ 「場面1」の場合は、Bさんの気持ちを中心にどうすればよいかを考えさせる。 ・ 「場面2」の場合は、Cさんの気持ちとともに、CさんとDさんの関係がどうすればよくなるかということにも視点を当てて考えさせる。	ワークシート
まとめ	・ 今日の授業の感想を書く。	・ ネット上に情報を発信することの問題点についてわかったことを中心に書かせるようにする。	感想用紙

ワークシート（場面1）

送られたメールは、その後どうなるでしょう？



Bさん、かわいそう…。
そうだ！

しよう！



Bさんの気持ち

Aさんの気持ち

おもしろい顔…。
ほかの友だちにも
見せたいな…。
そうだ！

しよう！



Bさんの気持ち

Aさんの気持ち

Aさんはどうすれば
よかったと思いますか？

もし、あなたにメールが届いたら…？



しよう！

名前（ ）

ワークシート（場面2）

ネットに書きこまれた悪口は、全く関係のない人も読むことができます。
読んだ人は、こんなふうに考えるかもしれません。



ふうん、Dさんってイヤな人なんだ。
Cさんも気の毒だなあ。
そうだ、Cさんの味方になっていっしょにDさんの悪口を書きこんでやろう！
どうせだれが書いたかわかりっこないし…。



Dさんの気持ち

Cさんの気持ち

Dさんのことをこんなにひどく書くCさんって、なんかイヤな感じ。
そうだ、Dさんの味方になって、逆にCさんの悪口を書きこんでやろう！
どうせだれが書いたかわかりっこないし…。



Dさんの気持ち

Cさんの気持ち

Cさんはどうすれば
よかったと思いますか？

もしあなたがこんな書きこみを読んだら…？



しよう！

名前（ ）